

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切って下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

本多庸一先生召天 100 周年記念

青山スタンダード科目「キリスト教理解関連科目」特別講座

バッハ・コレギウム・ジャパン レクチャー・コンサート

日 時 10月11日(木) 開演 18時30分

場 所 青山キャンパス 青山学院講堂

* 学生・教職員チケット(1人1枚限り)は各キャンパス宗教センターにて無料で配布中。

* 学外(一般用)チケットは、イープラス(<http://eplus.jp>) または、バッハ・コレギウム・ジャパン(TEL:03-3226-5333(代) 平日10時~18時 e-mail: info@bach.co.jp)にて、¥3,000で発売中。

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、^{アドヴェント}「待降節」(紫=悔い改め)、^{クリスマス}「降誕節」(白=栄光・喜び)、「^{エピファニー}公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「^{レント}受難節」(紫=悔い改め)、「^{イースター}受難日」(赤=血・贖罪)、「^{ペンテコステ}陰府下り」(紫)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「^{ペンテコステ}聖霊降臨節」(赤=火・力)、「^{ペンテコステ}神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

オール青山ハンドベルコンサート

日 時 9月22日(土・祝) 開場 13時 開演 13時30分

場 所 ガウチャー記念礼拝堂

前期の大学礼拝は、今週で終了します。後期は、9月21日(金)より開始します。

青山学院大学礼拝週報

2012. 7. 16.

神の国節第7週

No. 16

キリスト教のシンボル [15]

「鶏と茨」

「たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません」と言明していたペトロでしたが、そのペトロにイエスは言います。「はっきり言っておくが、あなたは、今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう」(マルコ 14: 27~31)。イエス・キリストの予告どおり、ペトロは一晩に三度もイエスとのかかわりを否定することになります。「するとすぐ、鶏が再び鳴いた」(マルコ 14: 66~72)と聖書は記しています。この出来事に人間の弱さの縮図を見ることができます。ペトロの裏切りについては4つの福音書が共通して取り上げています。それほどに人間のリアリティが秘められている特徴的な出来事です。

このシンボルは鶏がイエス・キリストの苦みの象徴である茨の冠とともにデザインされています。通常、鶏は夜明けを告げるシンボルですが、ペトロの裏切りとともに、ここではイエス・キリストの最期の一日の始まりとして、あの重々しい夜明けを告げるものとなっています。



今年度の主題聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、
忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 第5章3、4節)